

中小飛躍へ 航空に注目

大阪で共同事業

**部品供給グループ
一貫生産目指す**

受注窓口設立

製造業の高度な技術を生かす新しい市場として、航空宇宙産業が注目されている。大阪では航空機部品の受注を目指す中小企業グループ「次世代型航空機部品供給ネットワーク(OWO)」の動きが活発だ。OWOは05年4月の発足以降、マ別の研究会活動、米ボーイングや国内の大手航空機部品メーカーの工場見学、勉強会などの活動を続けている。

高精度加工、 管理を徹底



昨年12月には集会「総合フォーラム」で成果発表やパネルディスカッションを行った

.....

る仕組みづくり。08年2月には受注の窓口として統括会社のオー・ワイ・コープ(OYC、大阪市西区)を設立した。OYCの存在で責任の所在が明確になり一括受注しやすくなる。ユーザーの安心感と利便性を高めることで受注を獲得する。

会員の協調

OWOでは、日々生産効率化を進める中小企業が連携し、短納期での航空機部品製造を目指す。航空機部品には高精度の加工が求められるため、航空機部品を手がけることとは自社の信頼性を高めることにつながると考える企業が多い。

高いハードル

一方、常につきまとう課題は、いかにして各社の足並みをそろえていくかだ。協調体制を維持するために、会員企業は役

員の承認を経て加入する仕組みにしている。受

注を獲得しても、さまざまな業種の会員企業に均等な仕事の割り振りが可能とは限らない。それでも一体になって航空機部品の製造に取り組めるよう関係構築に努めている。

航空機部品の製造では高い半面、いったん受注できれば安定した収益が得られると期待する企業も多い。技術や管理体制向上のきっかけにもなっており、既存事業の競争力向上にも結びついている。

宇宙産業の要求に応じた品質管理規格「JISQ

(大阪・安藤光恵)

既存事業の競争力向上にも

9100」国際特殊工程認証システム(Nadcap)などの認証取得が欠かせない。信頼性が重視されるため新規参入のハードルは高く、受注するには技術やコスト競争力などの強いアピールが必要だ。

参入までのハードルが高い半面、いったん受注できれば安定した収益が得られると期待する企業も多い。技術や管理体制向上のきっかけにもなっており、既存事業の競争力向上にも結びついている。